

418-3-25



伊勢 二見浦

二見

興玉神社

社



三重県伊勢市二見町江五七五
電話 〇五九六―四三―一〇二〇
FAX 〇五九六―四三―一〇一五
<http://www.amigo2.ne.jp/~oki-tama/>
E-mail: oki-tama@amigo2.ne.jp

御祭神

さるたひこのおおかみ
猿田彦大神

うがのみたまのおおかみ
宇迦御魂大神

わたつみのおおかみ
綿津見大神(竜宮社)

はじめに

古来より、人々は当二見浦に詣で、夫婦岩の間から差し昇る「日の大神」と、夫婦岩の沖合七〇〇mの海中に鎮まる猿田彦大神縁りの靈石と伝えられる「興玉神石」を拝してまいりました。この伊勢の海清き渚より富士の山影を望み、その背から輝き昇る朝日、取り分け夏至の朝日を拝する神威さは筆舌に尽し難い感動を覚えます。世界を照し治め、日の大神と称えら

れる天照大神様の御神威を拝み、また猿田彦大神様の御神力のお陰を戴き、神人一体の極致を体感されますことをお祈り申し上げます。

御神徳

猿田彦大神は、天孫瓊瓊杵尊が天照大神より三種の神器を授かり天降られるとき、天の八衢にお迎えして途中の邪惡を祓いながら道案内を申し上げ、また垂仁天皇の御代、倭姫命が天照大神の御鎮座の地を求められたときも御神徳を示され五十鈴川上に導かれました。この為古来より善導の神として開運招福、家内安全、交通安全の守護神として信仰され、魂を導き甦らせる御神威により甦りの神と称され、別名興玉の神とも称えられております。また古来より、土地を領する地主神と云われ、土地の邪惡を祓い清め災厄を除く福寿の神として信仰されております。

宇迦御魂大神は、稲の靈の神と云われ、食糧を司る神、後に衣食住産業の守護神として仰がれております。

主なる祭典

一月 一日	歳旦祭	飛地境内社
一月 十四日	栄野神社例祭(湯立神事)	
二月 節分	節分祭	
二月 十七日	祈年祭	
五月 五日	大注連縄張神事	
九月 五日		
十二月中旬日曜日		
陰暦五月十五日	境内社 竜宮社例祭(郷中施)	
五月 二十一日	藻刈神事	
六月 夏至	夏至祭	
六月 三十日	大祓式	
七月 十五日	例祭	
十一月 四日	天の岩屋	
十一月 二十三日	新嘗祭	
十二月 二十三日	天长祭	
十二月 三十一日	大祓式	

他に国の祝日等の祭典

特殊神事

大注連縄張神事

夫婦岩は「日の大神」と夫婦岩沖合の猿田彦大神縁りの「興玉神石」を拝する鳥居の役目をしております。五月、九月、十二月、皆様方の御奉献により大注連縄を新しく張り替え大神様の御神威は益々光り輝きます。

藻刈神事

五月二十一日「興玉神石」より無垢塩草を採取します。無垢塩草は、天日に干して祓の具、不浄祓守となります。猿田彦大神は麩りの神と称えられております。

夏至祭と禊の神事

早晩、夫婦岩より霊峰富士の神威を仰ぎ、その背に差し昇り御光洋上に輝く太陽を拝するとき、こうこう神神しく神秘的な壮厳さはまさに天照大神であります。夏至の当日、日の出前に夏至祭を斎行し皆様の御多幸御健康また世界平和を御祈願します。日の出とともに禊をし、「日の大神」「猿田彦大神」の御加護を戴きましよう。

栄野神社



大注連縄張神事



藻刈神事



夏至祭(中日新聞提供)



表参道



天の岩屋 当社の天の岩屋は、古来より日の出を拝む夫婦岩とともに日の大神がお隠れになった天の岩屋と伝えられておりますが、我が国の随所に、天の岩屋、天の岩戸と称される処があります。当社も、その一つであり古くから石神とも申され宇迦御魂大神(豊受大神とも称される)をお祀り申し上げております。日の出に對し日の入(隠れられた処)、天照大神と豊受大神という関係と伝えられております。

大注連縄の奉献 当二見興玉神社の夫婦岩に懸けられる大注連縄は古式によつて調製されるもので縄の長さ三十五m、男岩に十六m、女岩に十mが巻かれ、その間の長さは九mあります。この大注連縄は五月五日、九月五日、十二月第三日曜日に張り替えられます。この大注連縄奉献の意味は一切の不浄を祓つて日の大神及び興玉神石遙拝の鳥居に献ずる古い習わしであります。

夫婦岩 男岩は高さ九m、女岩は高さ四m、注連縄の長さは三十五mです。日の大神と猿田彦大神縁りの興玉神石を遙拝する鳥居の役目をしております。夫婦岩の中央から差し昇る朝日は四、五、六、七、八の五か月が最も美しく拝されます。

日の出神拝所 悠久の昔より世界を照らし治められる日の大神と皇大神宮御鎮座に縁りの深い猿田彦大神の御神徳を戴き、清い潮風に心身を祓い清める時、日本国民の幸福と自覚を新たにし、魂の甦りを実感するものであります。当神社の日の出は古くから名高くバリの「ゲーム博物館」にも(伊勢の神聖の岩)と題した夫婦岩の油絵が掲げられている世界的名勝であります。波の穏やかな暁に水平線を金色に彩って富士の白峰を浮かびたせながら昇る朝日の雄大壮麗な景色は譬えるものもない崇高さであります。

裏参道



竜宮社 御祭神、綿津見大神

境内社として祀られ、海の守護をされる尊い神様であり、龍神を信仰される方々が全国よりお参りされております。

浜参宮 二見浦一帯は清き渚と呼ばれ、何処よりも清らかな浜辺として尊ばれて参りました。古くからその一帯を襷浜ともいい伊勢参宮を間近にひかえた人々がその浜辺で汐水を浴び、心身を清め襷被をされた襷場でありました。浜参宮は清き渚と称えられる二見浦の襷浜に参宮することであり、それを済ませてから、伊勢神宮へ参拝するのが順となっております。

二見蛙 当神社の御祭神猿田彦大神は天孫降臨の際、道案内をされたので(古事記、日本書記)、古来、交通安全 善導の守護神として広く信仰されております。蛙は大神の御使いと信じられ、境内の置物は、無事かえる、貸した物がかえる、若かえる等の縁起により御利益を受けられた方々の献納であります。

無垢塩草

心身の不浄を祓い、魂を甦らせて下さい



蛙守り

